

多摩大学グローバルスタディーズ学部・藤沢市共催 令和7年度市民講座のご案内



グローバルな視点を持って地域を考える



第1回 令和7年8月30日（土） 10:00～11:30

【講 師】多摩大学副学長兼グローバルスタディーズ学部長・教授 新美 潤

【テーマ】『イランを巡る情勢について
～在イラン日本大使館勤務の経験を踏まえて』



戦火の絶えない中東地域において、ガザにおける惨状に象徴されるイスラエルとアラブ・パレスチナの抗争の他、もう一つの台風の目となっているのが、イランと米国、イスラエル、湾岸諸国との対立です。なかなか外からは見えにくいイランという国について、在イラン日本大使館勤務の経験も踏まえ、お話をさせていただきます。

第2回 令和7年9月6日（土） 10:00～11:30

【講 師】多摩大学経営情報学部 准教授 樋笠 亮士

【テーマ】『混在交通における新興モビリティと法的倫理的社会的課題』



自動運転車、自動配送ロボット、電動キックボード、電動車椅子、自転車など様々なモビリティが混じりあう「道」を、「混在交通」と呼びます。モビリティの種類や数が増えても、道幅は変わりません。狭い道で、誰が優先されるべきか、多摩大学の両学部が取り組む国家プロジェクトを軸に、混在交通における自動運転や電動キックボードの法的・倫理的・社会的な問題についてお話しします。藤沢市長に提出したニューモビリティレポートや藤沢市の交通も扱います。

第3回 令和7年9月20日（土） 10:00～11:30

【講 師】多摩大学グローバルスタディーズ学部 教授 ブライアン・イングリッシュ

【テーマ】『変わりゆく時代の英語教育を考える
～文化・コミュニケーション・テクノロジーの三つの視点』



急速に変化する21世紀のグローバル社会の影響を受けて、日本における英語教育の在り方を今一度見直すことが求められています。本発表では、今後の英語教育を考える上で英語教員が意識すべき3つの重要なテーマについて考察します。それは、異文化間コミュニケーション能力（Intercultural Communicative Competence, ICC）の重要性、教科書や授業における文化的表現の在り方、そして人工知能（AI）の進化が英語教育に与える影響です。講演者自身の経験に基づき、これからの英語教育は単なる言語習得にとどまらず、異文化理解とテクノロジーの責任ある活用を重視すべきであるという提案を行います。また、日本の学習者と教育者にとっての課題と可能性についても掘り下げ、次世代が国境を越えて円滑に意思疎通を図るだけでなく、他者と敬意を持って、より深くつながる力を育むための英語教育の役割について考察します。



参加無料
本年度はミナパークで開催
詳しくは裏面をご覧ください

藤沢商工会議所
ミナパーク



多摩大学グローバルスタディーズ学部 藤沢市共催

令和7年度市民講座のご案内

拝啓

時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は本学の教育研究活動に、格別のご高配を賜り心より御礼申し上げます。

本学と藤沢市の共催によります令和7年度市民講座のご案内をいたします。本年度の市民講座につきましても、例年通り本学の教育活動に則した特徴あるプログラムをご用意いたしました。また今回、藤沢商工会議所ミナパークを会場とし、アクセスしやすい環境でご受講いただけます。

つきましては、裏面の内容をご覧ください、下記要領にてふるってお申込みいただければ幸いです。今後とも地域に根差した大学を目指してまいります。何卒よろしくお願いいたします。

敬具

記

1. 日 時：2025年8月30日(土) 9月6日(土) 9月20日(土) 10:00～11:30
2. 会 場：藤沢商工会議所ミナパーク 3階 302 303会議室
3. 費 用：無料
4. 定 員：各回90名(先着順)
5. 申込方法：件名を「市民講座申込の件」とし①氏名(ふりがな)②年齢③住所④電話番号を入力の上、Eメールでお申込みください。お申込みいただいた方へ、追ってEメールで受講案内を送信いたします。(電話、FAXでの受付はいたしません)
6. 受付期間：開始8月5日(火) 締切8月23(土)
7. メール送信先：<sgs-pro@gr.tama.ac.jp> 多摩大学事業推進室宛
8. 問合せ先：〒252-0805 藤沢市円行802

電話 0466-82-4141 担当:手塚 小泉

(月)～(金) 9:00～17:00

夏季休業期間 8月8日～8月17日除く

